



和水町防災避難訓練を開催

3月17日回、和水町体育館を避難所として、旧菊水中央小校区原口地区の住民を対象に、和水町防災避難訓練を開催しました。

午前9時からの避難訓練放送を受け、住民の皆様が徒歩、または車で、消防団や町職員の誘導のもと、避難所である体育館に移動。その後は、ドローン機の飛行模様の上映やAEDの操作説明、避難所で使用しているテントやベッド等の紹介、非常時を想定した炊き出し訓練などを行い、これから起こりうる災害に備えた、実のある訓練となりました。

今後も、各種団体と連携強化を図りながら、自主防災組織の育成強化及び地域における防災力向上を図ってまいります。



左から、チョマツ、早田順一山鹿市長、石原佳幸町長、なごみん

連携をさらに強化します！ 山鹿市との定住自立圏形成協定

山鹿市と和水町は、3月定例会において、定住自立圏形成協定の変更について議決を経たことから、3月26日頃に山鹿市役所にて、変更協定の締結について調印式を執り行いました。

新たに、デジタル活用の推進やインバウンド対策などの事業に取り組み、継続事業についても連携を強化します。



新入団員辞令交付

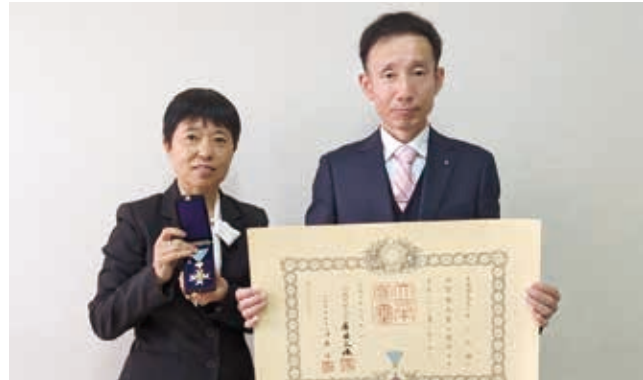
和水町消防団辞令交付式

4月7日回、和水町中央公民館で令和6年度和水町消防団辞令交付式が行われました。

式では、長きにわたり和水町消防団を引っ張ってこられた小木前団長をはじめ、今回、任期退職となる消防団員に退職辞令が渡され、感謝状と記念品の授与が行われました。

また、小山新団長より新幹部団員及び新入団員へ辞令交付が行われ、有明消防本部職員の指導のもと通常点検や消防規律訓練が行われました。

令和6年度は総員398人で新たな和水町消防団がスタートします。消防団員の今後の活躍に期待します。



米田教育長（左）、井上善朗さん（右）

ずいほうそうこうしょう 瑞宝双光章を受章

2月26日回、故井上忠勝さん（下津田）が瑞宝双光章を受章されたことに伴い、和水町教育委員会でご遺族の方へ勲章の授与を行いました。

瑞宝章とは、公務等に長年にわたり従事し、成績を挙げられた功労者に対して授与されるものです。

井上さんは、昭和41年4月に旧牛深市立久玉小学校教員に採用され、平成14年3月に旧三加和町立三加和中学校長として定年退職されるまで、永きにわたり熊本県及び当町の学校教育に多大な尽力をされました。なお、平成14年10月からは旧三加和町教育委員、平成15年10月からは旧三加和町教育長を務められました。また、平成22年4月からは和水町教育長として、当町のエデュケーションに大きく貢献されました。これらの功績が認められ、今回の受章となりました。



井上牧場のみなさん

令和5年度熊本県堆肥共励会 熊本県耕畜連携推進協議会長賞 【新人部門】受賞

2月29日回、良質堆肥の生産及び利用を促進し、土づくりを基本とした環境保全型農業を推進、また畜産農家及び堆肥生産者の生産技術の研鑽とレベルアップを図ることを目的として、熊本県堆肥共励会が開催されました。

その中で、株式会社 井上牧場（竜門）が熊本県耕畜連携推進協議会長賞【新人部門】に選ばれました。新人部門は、過去（H17以降）に堆肥コンクールに参加がなかった生産者等の堆肥が対象となり、品質、形状、腐熟度から審査が行われ、優良な堆肥であることが認められました。生産した堆肥は、近隣の園芸農家や、小規模農家、家庭菜園の販売や、自給飼料を栽培している農地への散布も行われています。



能登半島地震 被災地復興支援に参加

1月1日に発生した能登半島地震の被災地復興支援として熊本県対口支援チーム第8陣の一員として和水町から2名参加し、3月5日から3月13日までの9日間、石川県輪島市にて活動しました。

活動の内容は、住家被害認定調査（1次調査）で、輪島市にある全ての建物の外観および傾きを調査し、



被害の度合いを判定する業務でした。

いつ起こるか分からない自然災害に対する備えは、とても重要であり、この貴重な経験を今後の業務や災害時に活かしていきます。

また、今後も引き続き職員を派遣し、支援を行います。

最後に、能登半島地震で被災された方々の一日も早い復興をお祈りいたします。